

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 福岡県

【学校名】 豊前市立横武小学校

【テーマ】 I II III IV V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

フェアプレーの精神を養うゲームの研究

【実施学年、部、講座等】

第4学年（男子7名・女子9名）

【目的・ねらい】

ゲームを行う時、フェアプレーの精神を養う教育的活動を明らかにすること。

【種類】

各教科（体育科） ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・特別活動
・教科以外での取組（ ）

【実践内容等】

（実施内容）

オリンピック種目であるバスケットボールに類似するゲームを通して、チームで協力することの楽しさや、お互いを認め合うすばらしさを味わわせ、フェアプレーの精神を学ぶことができるようにする。

1 単元名

「4の1 オリンピックバスケットボール大会」（Eゲーム ゴール型ゲーム）

2 単元の目標

○ルールを守りながら全力で取り組み、勝敗を受け入れたり、自分のチームや相手チームの頑張りが素晴らしいところを認め合ったりし、ゲームを楽しもうとする態度を育てる。

【関心・意欲・態度】

○ボールの保持者と自分の間に守備者がいないように、空いているスペースに動くことができるようにする。【技能】

○相手との距離や相手に応じたパス、動きながらのキャッチ、自己の能力に合ったシュートができるようにする。【技能】

○ゲームの特徴を理解し、得点を取るためにチームで簡単な作戦を立てることができるようにする。

【思考・判断】

3 単元の学習指導計画（総時数 9時間）



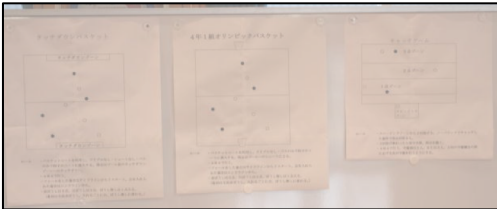
時	学 習 内 容
出会う ①②	○オリエンテーション ・オリンピックのバスケットボールの映像を見て「4の1 オリンピックバスケットボール大会」について話し合い、学習の内容と進め方を知る。 ・試しのゲーム

つかむ・つくる 1 ③④	○個人のボール操作能力やノーマークをつくる能力を高めるゲームを行い、4の1オリンピックバスケットボールに生かす。 【練習タイム】 ・バスケットボールラリー ・ランパス ・シュートゲーム 【ゲーム】 ・キャッチゲーム ・ゲームのふり回り
つかむ・つくる 2 ⑤⑥	○すばやい攻め方やスペースを工夫してゲームを行う。 【練習タイム】 ・バスケットボールラリー ・ランパス ・シュートゲーム ・キャッチゲーム 【ゲーム】 ・タッチダウンバスケット ・ゲームのふり回り
つかむ・つくる 3 ⑦⑧	○スペースを上手に使い相手コートに進出しシュートを打つ。 【練習タイム】 ・バスケットボールラリー ・ランパス ・シュートゲーム ・キャッチゲーム 【ゲーム】 ・4の1オリンピックバスケットボール ・ゲームのふり回り
まとめる ⑨	○「4の1オリンピックバスケットボール大会」を開き本単元をまとめる。 【練習タイム】 ・バスケットボールラリー ・ランパス ・シュートゲーム ・キャッチゲーム 【ゲーム】 ・4の1オリンピックバスケットボール大会 ・ふり回り

4 日時

平成28年1月27日(水) 5校時 14:10～14:55 於:体育館

5 本時の展開(6/9)

	学 習 活 動
導入	<p>1 T-UPTトレーニングを行う。 ・ペアストレッチ ・ランパス ・バスケットボールラリー(1分)</p>  <p>1分間でバスケットボールラリーが何回できるかな。40回いけるといいな。</p> <p>2 前時までの学習を想起し、本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>ノーマークをつくって相手コートに攻めていき、点数を取ろう！</p>  
展開	<p>3 ルールを確認しタッチダウンバスケットボールを行う。</p> <p>タッチダウンバスケットボール ルール</p> <p>1 4対4で行う。</p> <p>2 ドリブルはなし！2歩までは歩いてよい。</p>

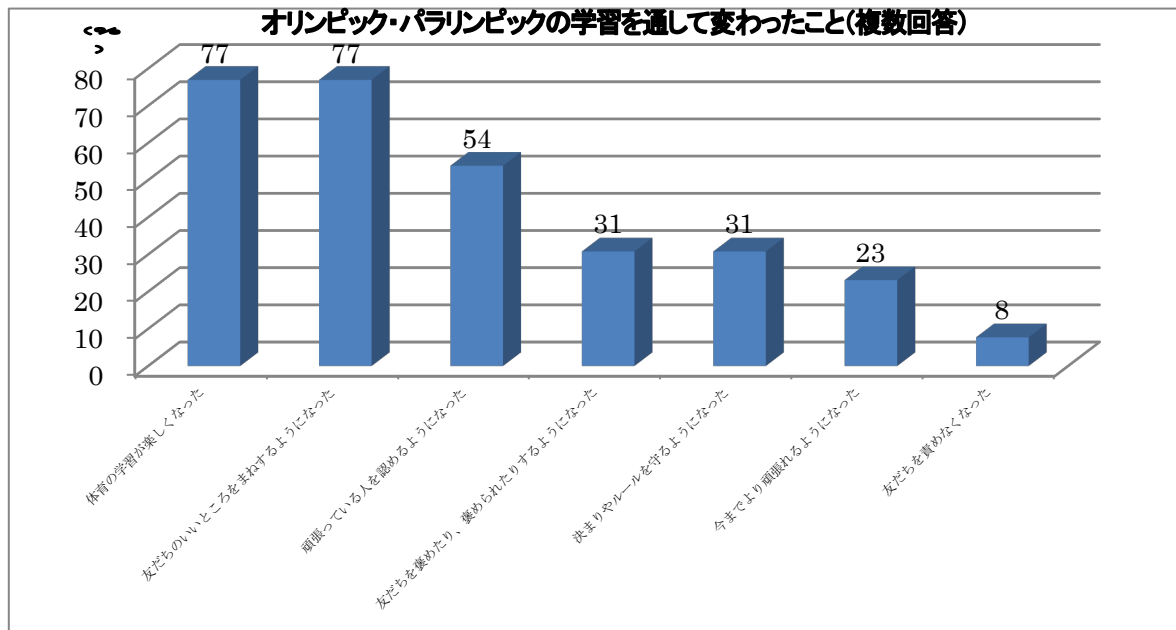
	<p>3 シュートは同じ人が入れた場合1回目が3点、2回目が2点、3回目以降は1点。 (赤白ぼうしを赤でかぶり、1回入れると裏返して白にする。2回入れたらぼうしを脱ぐ。)</p> <p>4 最初と最後は礼と握手！オリンピックのように、勝負が終われば、結果を受け入れ、相手チームに感謝し、相手をたたえよう！</p> <p>5 試合の後は、良かったところを発表し合う！</p> <p style="text-align: center;">※ 味方を責めるのではなく、どうすれば協力できるか考えよう！</p> <p>・前時を踏まえながら作戦を立てる。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>〇〇君は、捕るのが上手いからゴールの近くで待っていて、ゴールの近くに敵がいなかったら〇〇君にパスしたらどうかな。</p> </div> </div> <p>・ゲームを行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>試合前の円陣</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>試合の最初と最後は礼</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>試合前後に相手と握手</p> </div> </div> <p>※ 試合前、試合をするチームだけでなく試合のない見学チームも円陣をつくる。</p>
	<p>4 振り返り</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>黄色チームはゴール前にパスをしていた。緑色チームはパスをしたらすぐに走っていた。</p> </div> </div> <p>5 振り返りを生かして、ゲームを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを生かして作戦を立てたり練習したりする。 ・ゲームを行う。
<p>まとめ</p>	<p>6 本時のまとめをする。</p>
<p>(実践上の工夫点、留意点等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックのバスケットボールの映像やオリンピック憲章から、試合前後の礼と握手・チームで円陣・いいプレーに対しては敵と味方に関係なく声をかけ合うことが大事であると気付かせ、自分たちの試合にも取り入れることを確認し、実践した。 	
<p>(成果)</p> <p>○オリンピック憲章を初めて知った子どもも多く、オリンピックの意味を踏まえて、4の1オリンピック憲章を作ることができ、それを意識しながら学習や生活に取り組む事ができたことが良かった。</p>	

○もともと支持的風土のある学級だが、体育の学習中も、進んで友だちに声かけ・アドバイスをする児童が増え、勝ち負けだけではなく、お互いに伸びようとする姿が見られるようになってきた。

オリンピック・パラリンピック学習アンケート結果

- 1 オリンピック・パラリンピックの学習を通して、今までと変わったところがありますか。
(・はい ・どちらでもない ・いいえ から選択) → 【結果】100%の児童が「はい」を選択。
- 2 どんなところが変わりましたか？あてはまるもの全てに○を付けてください。

【結果】選択7項目全てに1名以上の○があり、グラフの通りの結果となった。(数値は割合)



- 3 オリンピック・パラリンピックについての学習の感想をお願いします。

【主な感想】

・オリンピック・パラリンピックの学習は、ほめ合ったり、まねしたりしたので、とても楽しくできた。ほめてもらったら、とてもうれしかった。良い人の動きをまねするととても上手にできた。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

- オリンプイズムを道徳や学級活動だけでなく、どのように体育科学習に関連付け、生かしていくかというところが難しかった。